

第4回 学校運営協議会

令和7年12月9日（火）14：00～ 於：多目的室

出席者：中川委員長、有野委員、坪山推進員、海老原推進員、
川島校長、鯉淵教頭、中田地域連携教員、平石（記録）

1 学校評価の概要

- ・ 学校評価の結果について、児童、保護者、教職員の3者の結果を説明した。

2 意見交換・協議（学校評価の改善について）

（1）読書指導の工夫について

- ・ 児童が読書に親しむための手立ての工夫について意見交換した。
- ・ 小中一貫教育とも関連させた施策などについて意見が出た。
- ・ 学校と家庭、地域の図書館などが連携して働きかけることの大切さを確認した。

（2）食育に関する指導の工夫について

- ・ 食育の場としての給食の大切さを再確認した。
- ・ 家庭では、好みによって食材や料理が偏りがちになることが多く、また周囲の目を気にしないで食べるのでマナーが身につくづらい状況を確認するとともに、児童への指導や家庭への啓発を行っていく方向性を確認した。

（3）メディアコントロールができる児童を育てる指導の工夫について

- ・ 児童が自分自身でメディアの利用時間や視聴内容をコントロールすることが難しいことを確認した。
- ・ 同様に、保護者が我が子のメディアの利用状況を把握できていない（児童のやりたい放題になっている）のではないかという懸念を共有した。
- ・ 学校から、やはり家庭でのルール作りとその徹底が大切であることを啓発していくことを確認した。

（4）その他

① 6年生のミニ学年だより「輪」について

- ・ 最高学年の思いや発行の状況について質問があり、学校より説明した。

② 不登校について

- ・ 不登校児童の状況について質問があり、現状と対応について話し合った。

③ 地域のつながりについて

- ・ コロナ禍以降、急速に大人も含めた地域のつながりが弱くなっていることに懸念が示され、子どもが育つ環境としても、大人同士のつながりの大切さについて話し合った。